

# 町民の声が届く まちづくりの確立を目指して 地域懇談会開催

6月1日から始まった地域懇談会が8月11日、21の全行政区で終了しました。今回の懇談会は、今後のまちづくりの方向性(▽地方創生▽産業振興▽世界遺産)についてや財政状況など、地域の皆さんとの対話を通して、今後のまちづくりに向けた活発な意見交換が行われました。

今回いただいた貴重な意見や要望を踏まえながら、今後のまちづくりに生かし、町民一人一人が元気になるような町政運営に取り組んでまいります。

地域懇談会で各行政区から寄せられた主な質問、意見について今月号・来月号と2号に分けてご紹介します。

## 寄せられた 主な質問、意見など

- Q** 水道水の水質について、カルキがついて汚れるからもつときれいな水道水にしてほしい。
- A** 町の水質は硬度が高く、つまりはミネラル質が多い。そのため沸騰するとカルキがつく。取り除くには今のろ過施設では難しいので、こまめに洗うなどしてほしい。
- Q** 各地区の公民館で水道料金の減免がされているが、下半期だけではなく全期間で減免してほしい。
- A** 水道の件について後期の分はご要望があり免除として対応がとられていたが、本年は料金を上げさせてもらっている。公民館の水道についてはさまざまな意見があるので検討させていただきます。
- Q** 水道の古い施設の周りなど



- A** 水道のタンクについて、危険な状況で放置はしていない。良い環境にするため、草刈りなどの方法について検討する。
- Q** 防災無線の修理や負担はどちらで行えばいいのか。
- A** 役場の総務企画課に持ってきてもらい、壊れていた場合は交換する。いずれ、機器もデジタル化のものに替えていく。
- Q** 福祉施設との防災協定を結んでいる。福祉施設と地域住

- 民との緊急時連絡網、緊急時の報告設備などの迅速な対応システムを構築してもらいたい。
- A** 防災無線などの活用は可能。施設との防災連携についても進めていきたい。消防が情報入手した時点から即対応することは可能だと思うので、検討していきたい。
- Q** 道の駅について管理運営は指定管理者がやることになっていると思うが、経営主体になる人はみんな自分のお店がある人だ。本当に運営できるのか。
- A** 道の駅にはいつまでも町は関わることはない。農業者や商業者が農産物などを出し、利益をあげてもらおう施設を町が整備するというのが道の駅である。管理運営は指定管理者という形をとってやってもらおうが、その人たちを中心として法人を組織してもらおう。単年度決算で赤字だからといって、すぐに補助を出すようなことはしない。委託する中でどうしても黒字経営でなければ別の法人に任せることも考える。しかしなるべく町民にやってほしい。現在の6人については募集をかけて集まってもらっている。できればその方々とともに成功

- へ繋げたい。
- Q** 道の駅について、平泉の魅力を発信するようなブースを設けていったほうが良い。
- A** 観光PRはもちろんするし、国交省も北東北の玄関口として考えているので、情報発信について進めていきたい。皆さんにも農産物などを提供いただきたい。国道沿いでは石神の丘、石鳥谷に次ぐ3番目の道の駅であることから、魅力あるものとしていきたい。
- Q** 道の駅はどの程度進んでいるのか。
- A** 建物の設計があがったところである。当初は来年の早い段階でオープンだったが、国交省との調整によってずれ込むかもしれない。28年度中のオープンを目指している。
- Q** 地元での雇用に繋がる農業、商業振興を進めて頂きたい。
- A** 道の駅もそうであるが、地域振興施設として位置づけている。国からの予算も頂戴しているのは、平泉ならではの強みだと思っている。世界遺産の効果の波及を実感できるような町、町に対して自分ができることをやる町、そうなることが大きな力になっていくと思っている。



- Q** スマートインターチェンジの近くに体育館を造るのであれば、イベントができるような施設でもなければならぬ。
- A** まずは体育館については後期計画において検討したい。場所についてもインターチェンジのところを第一候補だと考えている。後期計画で練り上げていきたい。
- Q** メガソーラー、体育館の建設などについて。
- A** 黄金沢土取地でのメガソーラー建設は、全体で29カ月かかり、その後発電が始まる。スマートICも正式認可になり、測量を開始するなど着工している。駐車場の確保も必要となるので、土地利用、工業団地へ通じる道として企業誘致を推進するなどさまざまな検討していかねばならない。
- Q** 工業団地にどこかの会社が入る予定はあるのか。
- A** 福山通運の後ろにまだ平地が残っている。誘致できるように努力している。
- Q** 景観条例について、建て直したのだが景観条例に触れるという点で、設計を2、3度見直すことになった。つまり、ある程度同じような家しかできない。自分の娘も好きな家が建てられないという話をする。

- A** 景観条例は世界遺産登録を目指す中で必要なため定められたもの。その条例の中身が厳しいのではないかと話した。びたび聞くが、未来に良い町並みを残すためには必要。
- Q** 町内に空き家があり、あのようなものはこれからどのようにするか考えがあれば教えてほしい。
- A** 今年の5月に国でも空き家対策に関する特別措置法が完全施行された。特定空き家というものに指定することによって、所有者に指導、助言、勧告、命令ができ、最終的には強制執行もできる法律である。これから町も条例化の対応や協議会の設置を行っていく。特定空き家については、指導から強制執行までの流れの中で対応していきたい。
- Q** 有害鳥獣がたくさんいるので駆除をお願いしたい。
- A** 有害鳥獣駆除については被害があれば駆除することができ。今も順番に行っている。
- Q** 人口減少が問題となっていて、平泉町はいつ頃まで単独でいけるのか。
- A** 人口減少問題に国がやっと取り組みを行おうとしている状況である。合併せず、2千人でも3千人でもやっている町

- 村もある。国の施策を利用して、平泉も東北の核として情報発信し、町づくりに生かしていきたい。合併は考えていない。
- Q** 2040年に町人口は5300人になる。こうなったら具体的にどうなるか？
- A** 何も対策をしないところなるが、いずれ、この状況に対して何かしらの方策を打たないといけない。地方創生の事業を活用しながら、何らかの手だてを講じ、定住化施策を進める。人口減少は間違いなく進む。そのための施策を展開していく。
- Q** 小さくても起業できるような施策があると、起業者の数が増え町にとってプラスになるのではないかと思う。
- A** 先日ふるさと平泉会の総会があり、企業を起こしている人との懇談の企画をお願いしてきたところ。今後あらゆる手段を講じながら、町のためになる機会を見つけていきたいと思っている。
- Q** 世界遺産になってどのくらいの効果があったか。地域課題はいつ頃から取りかかるのか。
- A** 効果額については調べていないが、中尊寺には毎日のようにかなりの観光客が来てい

- ることから、マイナスにはなっていない。地域課題については、当初1千万円とったが、臨時議会を開いて予算組み換えをかけてすぐにも取りかかりたい。
- Q** 観光客に、何を見たら世界遺産を感じられるのかと聞かれ答えられなかった。説明文があるが、専門的な用語があつて分かりにくい。
- A** 観光商工課や文化遺産センターで研究させたい。
- Q** 義務教育6・3制について自治体に任せるとあるが平泉町はどうするのか。
- A** 小学校の統合については、議会でも答弁しているが、行政主導でこの問題を片づけるべきではないと考えている。ひとつの学年で1学級持てなければ複式学級になるの。その時がその検討時期かと思う。長島小学校も全校で現在86人、1学年大体15人程度の状態が続くため、複式学級まではいかない。小中一貫について、まだ考えていないし、平泉の学校はまだ建物がないので、新たな校舎は建てない。
- Q** 県道の通学路と観光道について。厳美溪方面への歩道を整備すべきではないか。

- A** 県に要望があった旨を伝え、整備できるように働きかけていきたい。
- Q** 保健センターで検診をしているが参加者が少ない。健康を維持するためにも参加率を高くしてほしい。また元氣な老人を増やすためにはどうすればいいか考えてほしい。
- A** 高齢化に向けて5カ年計画の中で、しっかりと考えたいと思っている。
- Q** 農地について高齢者が農業をできなくなった場合その農地は荒れるしかないのだろうか。
- A** さまざまな制度を国でも出しており、それを組み合わせることを考えている。また、この地域にはどのようなことが合っているのかを調べ、マスタープランの中で整合性のある話し合いを行いたい。